

益 田 市

平成30年 5月22日
報道発表資料

担当課名 教育委員会 文化財課
歴史文化研究センター

担当者名 中司 健一

電話番号 0856-31-0623

FAX 番号 0856-24-1380

E-mail kenichi-nakatsuka@city.masuda.lg.jp

2018年度東京大学史料編纂所一般共同研究

「中世石見国高津川流域の史料調査と研究」の研究会及び現地視察について

東京大学史料編纂所が公募する2018年度東京大学史料編纂所一般共同研究について、下記の研究課題・内容・体制で応募し、採択を受けました。

本共同研究は、平成26年度から28年度まで実施した島根県古代文化センター・東京大学史料編纂所・益田市歴史文化研究センターによるテーマ研究「石見の中世領主の盛衰と東アジア海域世界」を受け継ぐものです。また同テーマ研究で課題として残った、中世の鹿足郡の領主吉見氏や高津川流域社会の実態解明を目指すものであり、国立歴史民俗博物館による益田市域を対象とした共同研究も踏まえつつ、史料調査と研究を進めるものです。

その第一回研究会と現地視察を実施いたしますので、ぜひ取材くださいますよう、ご案内いたします。

1. 研究課題名

中世石見国高津川流域の史料調査と研究

2. 研究の概要

(1) 研究の目的と内容

本共同研究は、中世石見国高津川流域（島根県益田市西部、津和野町、吉賀町）の政治、流通・経済、文化などの実態解明を進めることを第一の目的とし、第二の目的として第一の目的を達成するために、これまで十分に進んでいない同地域の史料の調査と研究を進める。

具体的には、この地域の国人である益田氏と吉見氏、中小領主である内田氏・俣賀氏・安富氏、また長野荘等、この地域に展開した荘園等の関係資料を蒐集・調査・研究し、その成果を発表する。

また、近年、目覚ましく進んでいる周辺地域（大内氏領国、毛利氏領国、益田氏をはじめとする御神本一族とその支配領域）についての研究成果や、隣接分野である考古学・美術史学の成果を積極的に取り入れる。

(2) 研究体制

目次 謙 一（島根県古代文化センター 専門研究員）

小杉 紗友美（津和野町教育委員会 文化財係 主任学芸員）

西田 友広（東京大学史料編纂所 中世史料部 助教）

倉恒 康 一（島根県古代文化センター 主任研究員）

長村 祥知（京都府京都文化博物館 学芸課 学芸員）

角野 広海（島根県立石見美術館 学芸員）

中司 健一（益田市教育委員会文化財課歴史文化研究センター 主任） ※研究代表者

3. 東京大学史料編纂所内共同研究者 西田友広助教の所見

本所所蔵「益田家文書」を伝えた益田氏と支配領域を接し、競合関係にあった吉見氏に関する調査・研究が進展することは、これまで益田氏・益田家文書を中心に描かれてきた同地域の歴史像を相対化し、益田氏・益田家文書研究を深める上でも大きな意味を持つと考えられる。

従来、調査が十分に行われていなかった地域でもあり、現地研究者との協業の意義も大きい。

4. 研究成果の公表について

- (1) 平成31年度に、市民を対象とした成果報告会を開催し、市民にその成果を公開する予定。
- (2) 研究成果を論文等にまとめ、学会誌に投稿、あるいは報告書等に掲載する。
- (3) 研究の過程で調査した史料については、学会誌にその翻刻（古文書の内容を活字化したもの）や解説を掲載する。
- (4) 将来的には、この地域の中世史料集の刊行や、この共同研究の成果を活かした展覧会の開催も検討したい。

5. 第一回研究会について

- (1) 日時 平成30年5月28日(月)15時00分から17時00分まで
- (2) 会場 益田市立市民学習センター203号室
- (3) 内容 研究状況の整理と課題の共有
共同研究のスケジュール
現地視察のガイダンス
事務連絡

6. 現地視察について

- (1) 日時 平成30年5月29日(火)8時30分から16時30分まで
- (2) 場所 益田市内各所、津和野町内各所
- (3) 日程 9時00分頃 横山城（益田市桂平町）を遠望
9時30分頃 吉見氏居館跡（津和野町中曾野字木曾野）とその周辺を見学
10時30分頃 鷺原八幡宮、永明寺等、津和野城下見学
11時30分頃～12時30分頃（昼休憩）
13時00分頃 下瀬山城跡周辺（津和野町池村・河村）を見学
14時00分頃 日原町須川を見学
15時00分頃 益田市横田町から安富町を見学
16時00分頃 益田市本俣賀町を見学
16時30分頃 終了

※津和野町内では、津和野町教育委員会文化財係にご案内いただきます。

※あくまでも予定であり、時間が前後したり、一部中止したりする場合があります。

※取材は随時受け付けますが、視察の妨げにならないよう、ご配慮をお願いします。

7. その他参考情報

- (1) 標記一般共同研究については、東京大学史料編纂所ホームページ「共同利用・共同研究拠点の活動について」をご覧ください。

【一般共同研究】※2017年度採択件数16件、2018年度採択件数20件

東京大学史料編纂所が、所外の研究者（1名あるいは数名のグループ）から、共同研究の課題を公募し、所内の研究者と協力して研究を進める。

※2013年度の一般共同研究では、益田市文化財課職員が研究代表者となった「文献・考古両分野による中世後期西日本海地域における流通経済の解明」が採択され、実施した。その成果の一部は平成26年11月16日にシンポジウム「中世山陰の流通と国際関係を考える」を開催して市民に公開し、また同シンポジウムの記録集も作成し、県内図書館等に配布した（シンポジウムの開催及び記録集の作成は、全国モーターボート競走施工者協会からの拠出金を受けて実施した）。また、その成果は、平成26年の「益田家文書里帰り展」、平成29年の「石見の戦国武将展」（ともに島根県立石見美術館にて開催）、後者のもとになった島根県古代文化センター・益田市歴史文化研究センター・東京大学史料編纂所によるテーマ研究「石見の中世領主の盛衰と東アジア海域世界」などにも反映されている。